

# 令和6度 入試過去問題

## 彫刻専攻

### 総合型選抜

---

#### 第1次選考：書類審査

出願時に提出された自己アピール資料による能力判定及び書類審査により選考。

#### 試験科目 自己アピール資料

評価基準 想像力と造形力を総合的に判断する。

#### 【自己アピール資料及び課題の内容】

##### A 自己アピール資料

これまでの自主的な活動や作品を自由にまとめてください。

##### B 課題（表現又は提案）

「花」をテーマに自由に発想し表現してください。

- ・立体作品として制作してください。
- ・提出は、3方向から写した写真によることとします。
- ・作品に関するコメントを400字以内で記し、添付してください。

提出資料(A,B)は、A3サイズのファイル1冊にまとめてください。枚数は自由。

---

## 第2次選考

試験科目 小論文

試験時間 1 時間半

評価基準 論理的な思考力と文章表現力をみる。

**試験問題：**配布した資料は、イギリス出身の彫刻家、アントニー・ゴームリー（1950年～）の彫刻作品およびその制作過程の写真です。これらの資料から作者が表現したかったことは何かについて考え、あなたの考えたことを解答用紙に1200字以内で記しなさい。

(図1) アントニー・ゴームリー 《Critical Mass II [危険な塊 II]》の制作プロセス 1995年

(図2) アントニー・ゴームリー 《Learning to See [見ることを学んでいる]》1991年

(図3) アントニー・ゴームリー 《Three Ways: Mould, Hole and Passage [三つの道：型,穴,通路]》1981年

図版 アントニー・ゴームリー[作]；神奈川県立近代美術館編，  
*Antony Gormley :still moving works 1975-1996*,読売新聞社,1996

**出題の意図：**対象を見て感じたことや考えたことを論理的にまとめ、文章で表現できるかを問う。

**注意事項：**辞書類の使用は不可。鉛筆（シャープペンシル）を使用。

---

試験科目 面接

試験時間 1人15分程度

評価基準 立体造形表現への意欲・資質をみる。

**内容：**第1次選考試験、自己アピール資料を参考に試問

# 令和6年度 合格者（入学者）作品

## 彫刻専攻

### 一般選抜

---

#### 試験科目 素描

- ・木炭又は鉛筆、併用も可
- ・試験用紙(木炭紙、画用紙)を配布時に選択

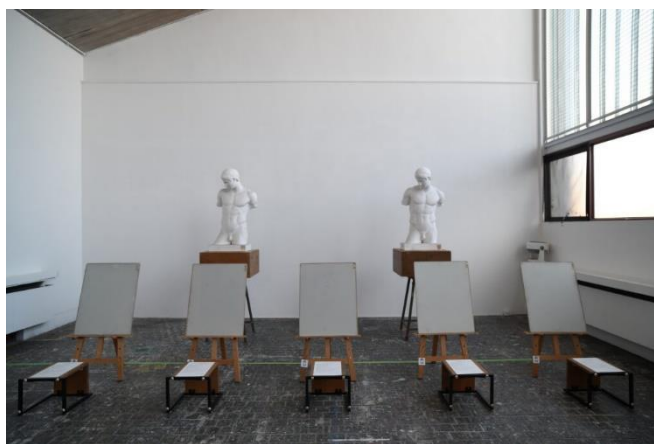
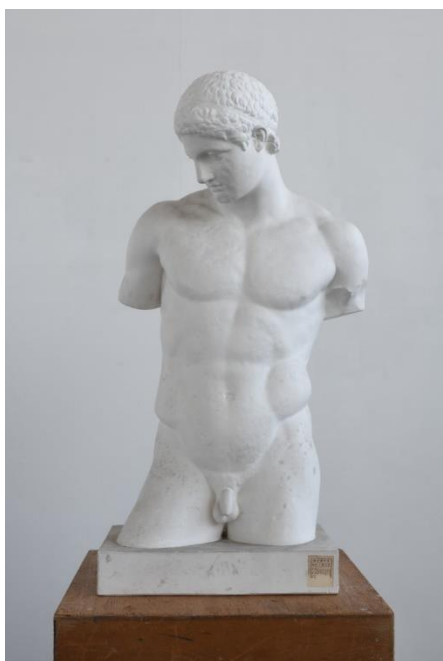
試験時間 6時間

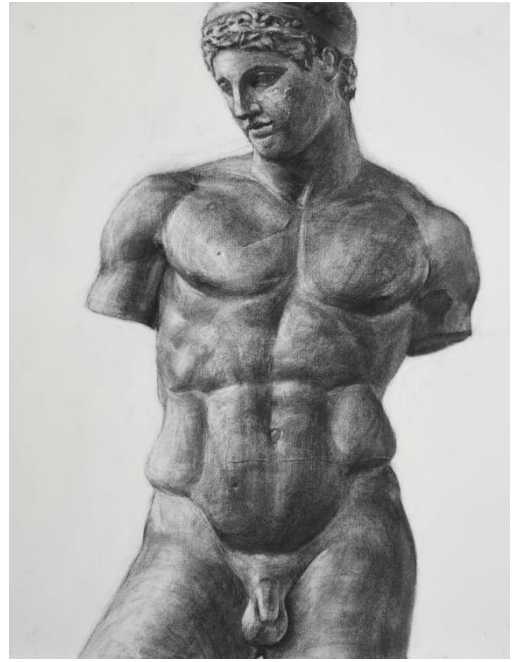
評価基準 基礎的な描写力と表現力をみる。

問題文：台の上の石膏像を素描しなさい。

モチーフ：円盤投げ

配付物：木炭紙又は画用紙





---

試験科目 塑造

試験時間 7 時間

評価基準 立体造形力と感性をみる。

問題文：「光」をテーマに、リンゴと布をモチーフとし、自由に塑造しなさい。

\* 配布されたリンゴと布は加工しても構いません。

モチーフ：リンゴ、布

配付物：粘土(15 kg)、塑造板、心棒(金属)、心棒用木材、ベニヤ板(粘土硬さ調整用)、  
針金(8番,10番)、しゅろ縄(太,細)、塑造道具等



